

令和3年度  
事業報告書

社会福祉法人 大東市社会福祉協議会

## 目 次

1	理事会・評議員会等開催状況	1 P
2	社協会員・会費状況	3 P
3	会員募集協力自治会助成事業	4 P
4	ふれあい出前講座	4 P
5	お茶のみ休憩所（まちかどサロン）事業	5 P
6	大阪府福祉基金地域福祉振興助成金事業	5 P
7	地域福祉部会活動	6 P
8	大東市地域貢献委員会の取組み	6 P
9	福祉機器銀行取扱状況	7 P
10	視覚障害者用「声の広報」作成業務	7 P
11	視覚障害者用「点字広報」作成業務	7 P
12	視覚障害者用「声の議会だより」作成業務	7 P
13	高齢者見守り事業「さわやか笑顔訪問」	8 P
14	ボランティアセンター事業	9 P
15	校区(地区)福祉委員会活動と小地域ネットワーク活動	11 P
16	日常生活自立支援事業	12 P
17	献血推進事業	14 P
18	貸付制度	18 P
19	善意銀行の状況	19 P
20	共同募金運動の状況	20 P
21	歳末たすけあい運動の状況	21 P
22	ひとり暮らし高齢者給食サービス事業	22 P
23	ボランティア基金の状況	23 P
24	社会福祉基金の状況	23 P
25	コミュニティソーシャルワーカー配置事業	24 P
26	生活困窮者自立相談支援事業	25 P
27	生活困窮者緊急物資等支援事業	26 P
28	放課後児童健全育成事業	27 P
29	総合福祉センター事業	28 P

## はじめに

令和3年度はコロナ禍の影響により、多くの事業について変更や中止が生じています。

### 1 理事会・評議員会等開催状況

※ 今年度の理事会、評議員会は、コロナ禍により開催形式を変更しています。

#### 《理事会》

回	開催日	開催場所	出席状況	案 件
1	令和3年 5月28日(金) *理事会の決議があった ものとみなされた日	書面審議	書面にて全員 (理事15名、 監事2名)出席	①～⑤評議員選任・解任委員会委員の選任 ⑥評議員選任・解任委員会の開催 ⑦評議員候補者の推薦 ⑧令和3年度第1回(定時)評議員会の開催 ⑨役員(理事・監事)候補者の推薦 ⑩令和2年度事業報告の承認 ⑪令和2年度決算報告の承認
2	令和3年 6月18日(金) *理事会の決議があった ものとみなされた日	書面審議	書面にて全員 (理事15名、 監事2名)出席	①大東市社会福祉協議会会長の選定 ②大東市社会福祉協議会副会長の選定
3	令和4年 3月18日(金) *理事会の決議があった ものとみなされた日	書面審議	書面にて全員 (理事15名、 監事2名)出席	①令和3年度補正予算(案)の承認 ②令和4年度事業計画(案)の承認 ③令和4年度予算(案)の承認 ④役員等賠償責任保険契約 ⑤～⑬地域福祉部会委員選任の同意 ⑭令和3年度第2回評議員会の開催

#### 《評議員会》

回	開催日	開催場所	出席状況	案 件
1	令和3年 6月18日(金) *評議員会の決議があった ものとみなされた日	書面審議	書面にて全員 (24名)出席	①～⑦役員(理事及び監事)の選任 ⑧令和2年度事業報告の承認 ⑨令和2年度決算報告の承認
2	令和4年 3月25日(金) *評議員会の決議があった ものとみなされた日	書面審議	書面にて全員 (24名)出席	①令和3年度補正予算(案)の承認 ②令和4年度事業計画(案)の承認 ③令和4年度予算(案)の承認

#### 《評議員選任・解任委員会》

回	開催日時	開催場所	出席状況	案 件
1	令和3年 6月4日(金) (開会)午前9:55 (閉会)午前10:06	ボランティアセンター	全員(5名)出席	①～④評議員の選任

## 《その他の会議》

会議名称区分	開催回数
地域福祉部会	1
ボランティア団体連絡会	3
大東市献血推進協議会	1
大東市地域貢献委員会	3
大東市校区（地区）福祉委員会委員長連絡会	2

## 《他機関会議等への参加》

会議名称区分	出席回数	参加人数	備考(主催者等)
民生委員児童委員推薦会	2	2	大東市
子ども・子育て会議	3	3	大東市
児童虐待防止代表者会議	1	1	大東市
障害者総合支援協議会	1	1	大東市
障害者虐待防止連絡会議	3	3	大東市
総合介護計画運営協議会	1	1	大東市
地域包括支援センター運営協議会	2	2	大東市
国民健康保険運営協議会	2	2	大東市
自殺対策推進連絡会議	1	1	大東市
DV防止対策連絡会議代表者会議	1	1	大東市
人権擁護施策推進審議会	1	1	大東市
福祉センター4施設所長会議	5	5	大東市
コミュニティソーシャルワーカー協議会	8	16	大東市他
北河内介護人材確保連絡会議	1	1	北河内7市・社協
北河内地区社会福祉協議会連絡会	1	2	北河内7市社協合同
共同募金会（評議員会・事務局長会）等	2	3	大阪府共同募金会
市町村社協連合会総会	1	1	大阪府社会福祉協議会
市町村社協会長・事務局長会	2	2	大阪府社会福祉協議会
市町村社協連合会合同会議	3	6	大阪府社会福祉協議会
ボランティア担当者会議	2	2	大阪府社会福祉協議会
民生委員児童委員協議会関係	1	1	大阪府社会福祉協議会
日常生活自立支援事業会議・研修会等	7	12	大阪府社会福祉協議会
運営支援者スキルアップ研修	1	1	大阪府社会福祉協議会
地域ケア会議運営委員会	6	6	大東市地域包括支援センター
地域ケア会議実務担当者部会	12	24	大東市地域包括支援センター
認知症対策会議	3	3	大東市地域包括支援センター

## 2 社協会員・会費状況

本会では、昭和41年の社会福祉法人化以来「会員会費制度」を施行し、地域福祉における自主財源の確保に努めています。この制度は、区長・自治会長をはじめとした地域役員そして何よりも住民の温かい理解と協力によりその定着が図られています。

この会費は、事業費及び運営費に使用されています。

### 《会費区分一覧》

種 別	会 費 (円)	対 象	備 考
一般会員	500	市 民	4月に自治会を通じ募集
賛助会員	A 3,000		
	B 2,000		
	C 1,000		
特別賛助会員	10,000(1口)	市内法人(企業)	個別集金・振込

### 《会員募集結果一覧》

種 別	会 費 (円)	世帯・法人数	金 額 (円)
一般会員	500	15,334	7,667,499
賛助会員	A 3,000	12	36,000
	B 2,000	23	46,000
	C 1,000	131	131,000
特別賛助会員	10,000(1口)	105	1,200,000
合 計		15,605	9,080,499

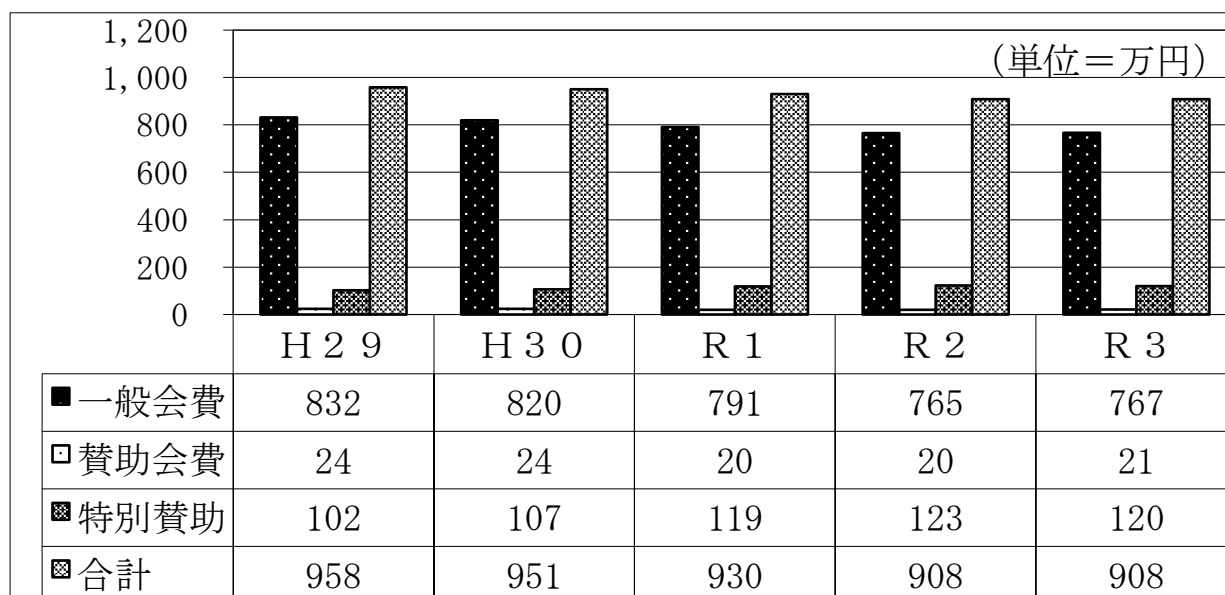
※ 特別賛助会員の複数口数加入法人は、  
2口=6社、3口=1社、4口=1社、5口=1社

### 《会員世帯数》

区 分	H29	H30	R1	R2	R3
全世帯数	56,236	56,519	56,918	57,224	57,271
会員世帯数	16,645	16,417	15,829	15,298	15,334

市内全世帯に対する会員比率は、約26%となっており、全戸加入を目標とした取組みが課題であります。

## 過去5年の会費額の推移



### 3 会員募集協力自治会助成事業

区・自治会の福祉活動の円滑な推進と活性化を図るため、平成28年度から会員募集協力自治会に対して助成事業を実施しています。

この事業は、交付する年度の前年度において本会会費を納入した区・自治会等に前年度の会員会費実績額の約10%を申請書に基づき助成するものです。令和3年度実績としては58件に746,000円を助成しました。

### 4 ふれあい出前講座

地域住民と本会との繋がりを深め、地域共生社会の実現を目指す「ふれあい出前講座」を実施しています。

講座は、大きく「暮らし」と「災害」に分け、12種類のテーマで本会職員が講師を務め、地域の団体等からの要請に応じて実施しています。

実施月	テーマ	団体	人数	実施日	テーマ	団体	人数
令和3年7月	認知症予防にも役立つ回想法	福祉委員会	30	令和4年1月	認知症予防にも役立つ回想法	福祉委員会	38
令和3年11月	天災は忘れたころにやってくる	その他	2	令和4年1月	認知症予防に役立つ回想法	福祉委員会	34
令和3年11月	認知症予防にも役立つ回想法	福祉委員会	9	令和4年2月	手話で話してみよう	小学校	74
令和3年11月	お金の管理、知っとく安心	その他	50				
令和3年12月	車いす体験	中学校	142				
令和3年12月	社会福祉協議会について	その他	8				
令和3年12月	認知症予防にも役立つ回想法	福祉委員会	34				
令和3年12月	貸付事業等について	当事者団体	70				

実施回数 11回  
参加人数 491人

## 5 お茶のみ休憩所（まちかどサロン）事業

公共施設や空き家等を利用して高齢者の方などが気楽に集う場を提供し、閉じこもり防止や社会的孤立の解消を図っています。

また、社会福祉・健康に関する情報提供や相談にも対応し、住民が快適な生活を送れるよう、校区（地区）福祉委員会や自治会等で組織化して運営を行っています。

### 《事業実績》

実施校区	名称	開所曜日	開所日数	参加人数
谷川中学校区	いこか	水・木曜日	64	1,053
住道中学校区	太陽会	水・金曜日	56	729
大東中学校区	ほっと	金曜日	51	725
四条中学校区	ゆったり (野崎まいり公園)	水曜日	—	—
	ゆったり (中垣内公民館)	第1・3 木曜日	4	110
	ゆったり (寺川公民館)	第1木曜日 第3土曜日	7	216
南郷中学校区	たいし縁	火曜日	8	137
	たいし縁赤井	木曜日	6	23
深野中学校区	ゆっくり	月・水曜日	9	36
合計			205	3,029

## 6 大阪府福祉基金地域福祉振興助成金事業

「ウィズコロナ、ポストコロナに対応した地域活動モデルの開発」に該当する事業に対し交付される助成金を活用し、職員、民生委員児童委員、福祉委員、ボランティアを対象とした講習会（LINE、動画、ホームページ作成等）を実施しました。

LINE公式アカウントを開設するなど、ICTを活用した新たな取り組みを行う契機となりました。

- ① 「だいとうTsunagari i i ONLINE事業」開設準備研修会 計11回  
対象：社協職員 参加人数：13名
- ② 「LINE・動画作成講習会」 計30回  
対象：民生委員児童委員、福祉委員、ボランティア 参加人数：43名

## 7 地域福祉部会活動

本部会は、本会会長の諮問に応じて法人運営および地域福祉活動に関する具体的方策について検討し、その結果を会長に答申する役割を担っています。

令和3年度は、第4期大東市地域福祉活動計画の実施や推進、次年度事業（新たな取り組み）についての検討を行いました。

開催日	内容
令和4年2月18日(金)	① 第4期大東市地域福祉活動計画について ② 次年度事業について

## 8 大東市地域貢献委員会の取組み

市内の子ども、高齢、障害の各分野の社会福祉法人等と本会が連携して地域福祉の向上に寄与することを目的として地域貢献委員会を設置しています。

現在、入会の状況は、子ども分野11法人、高齢分野9法人、障害分野8法人で、合計26法人（2法人は分野の重複）が加入しています。

令和3年度は、地域貢献委員会として締結した災害時における福祉避難所協力施設確保等に向けた包括協定及び個別協定について具体的な活動を市と検討しました。

また、民生委員児童委員、校区（地区）福祉委員とお互い相談ができる体制づくりを目指し、広報・周知に必要なパンフレットを作成しました。

### 《総会》

開催日	案件
令和3年10月31日(月) ※ 書面審議	① 令和2年度事業報告の承認 ② 令和2年度決算報告の承認 ③ 令和3年度事業計画（案）の承認 ④ 令和3年度予算（案）の承認

### 《役員会》

開催日	案件
令和3年10月15日(金)	① 包括災害協定 ② 総会
令和3年12月15日(水)	① 包括災害協定 ② 大阪しあわせネットワーク体制構築モデル事業

### 《研修会》

開催日	案件
令和4年3月7日(月)	「河内長野市社会福祉施設連絡会の活動について」 講師：救護施設みなと寮、河内長野市社会福祉協議会 参加人数：10名



## 9 福祉機器銀行取扱状況

市からの受託事業として、市民から寄付のあった車椅子を無料貸し出しする『福祉機器銀行』の運営を行っています。

貸出対象は身体障害者手帳を持つ（申請中も含む）市民又は新規貸出時に介護認定を受けていない（要支援・要介護1は除く）60歳以上の市民です。

### 《福祉機器銀行備品内容》

備品区分		台数（対前年度比）	備考
車椅子	一般型	73（-5）	新規3台、廃棄8台
	子ども用	6（±0）	—
	バギータイプ	6（±0）	—

### 《月別取り扱い集計票》

区分\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計（対前年度比）
新規申込件数	6	8	4	2	7	3	3	4	5	2	2	3	49(-32)
更新件数	11	10	12	16	14	9	12	12	9	14	13	7	139(-4)
合計	17	18	16	18	21	12	15	16	14	16	15	10	188(-36)

## 10 視覚障害者用「声の広報」作成業務

市の受託事業として、視覚障害のある希望者に「声の広報」を作成し、月1回の送付を実施しています。

### 《月別取扱集計表》

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
発送件数	37	37	37	37	37	37	37	37	37	36	36	36	441

## 11 視覚障害者用「点字広報」作成業務

市の受託事業として、視覚障害のある希望者に「点字広報」を作成し、月1回の送付を実施しています。

### 《月別取扱集計表》

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
発送件数	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204

## 12 視覚障害者用「声の議会だより」作成業務

市の受託事業として、視覚障害のある希望者に「声の議会だより」を作成し、年5回の送付を実施しています。

### 《月別取扱集計表》

区分/月	5	7	8	11	2	合計
発送件数	37	37	37	37	36	184

### 13 高齢者見守り事業「さわやか笑顔訪問」

75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、乳酸菌飲料のヤクルトを週2回手渡しでお届けしながら高齢者の安否確認、孤独感の解消を図ることを目的として事業を実施しています。

多くの利用者から「ヤクルトさんが来てくれるのが嬉しい」、「淋しくなくなった」などの声も頂いています。また、配達時に利用者の異変に気づけば関係機関や緊急連絡先に連絡をします。

#### 【対象者】

- 75歳以上のひとり暮らしであること
- 安否確認が可能な介護施設や高齢者施設、高齢者専用住宅などに入居していないこと
- 介護保険の居宅サービス及び介護予防・生活支援サービスを利用していないこと
- 大東市が実施している高齢者給食サービスを利用していないこと

【利用料】 無 料

【配達日】 ①月曜日・木曜日、②火曜日・金曜日 ※（祝日、お盆、年末年始除く）

【利用者数】 222名

#### 《月別実績》

月	登録者数	在宅件数	不在件数
4月	264	1,808	52
5月	263	1,635	39
6月	261	1,772	47
7月	258	1,715	54
8月	255	1,642	39
9月	255	1,534	43
10月	260	1,730	40
11月	254	1,724	47
12月	251	1,613	44
1月	249	1,403	61
2月	245	1,392	48
3月	222	1,556	48
合計		19,524	562

利用者不在時の対応			
電話での在宅確認	訪問での在宅確認	訪問による安否が確認できず緊急連絡先へ連絡	その他
45	7	0	0
36	3	0	0
43	2	2	0
52	2	0	0
37	0	1	1
38	5	0	0
34	1	4	1
43	2	2	0
34	5	3	2
53	3	5	0
47	0	0	1
45	1	2	0
合計	31	19	5

※ ヤクルト配達時、在宅確認ができなかった件数は562件でした。

この内、電話で在宅確認ができたのは507件、自宅訪問によって安否を確認できたのは31件、訪問するも安否を確認できず緊急連絡先へ連絡したのは19件、その他5件となっています。

(その他の内訳)

- ・ 関係機関より情報提供 2件
- ・ 不在報告漏れ 2件
- ・ 隣人や民生児童委員の情報提供 1件

## 14 ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談対応や調整、市民への広報活動、大東市ボランティア団体連絡会の広報支援などを行いました。

令和3年度もコロナ禍でボランティア活動の在り方に影響を及ぼしましたが、その中でも、広報活動の一環として、オンラインでボランティアフェスティバルを実施しました。今後も状況に応じた活動の支援を行っていきます。

### 1 ボランティアに関する総合相談

(1) 相談受付件数 38件

(2) ボランティアサロンの開催

実施日 毎週金曜日午後1時30分～3時30分  
場 所 総合福祉センター2階ボランティアルーム  
内 容 収集ボランティア活動を実施しながら、ボランティアに関する相談を行い、誰でも気軽に集まることのできる場を提供  
協 力 ボランティア「さんごじゅの会」

### 2 ボランティア保険への加入

(1) 申込受付件数 255件

(2) 保険内容 ボランティア保険、市民活動行事保険、非営利・有償活動保険  
移送中事故傷害保険

### 3 ボランティア活動団体への助成

助成金交付日 令和3年8月5日(木)  
交付団体数 19団体  
交付金額 91万円(17団体5万円、2団体3万円)

### 4 ボランティア関係講習会・研修会の実施

(1) 点訳ボランティア養成講座

開催日時 令和3年10月6日(水)～12月8日(水)  
※11月3・17日を除いた毎週水曜日 全8回、午前10時～正午  
開催場所 総合福祉センター 1階 社会適応訓練室  
内 容 点訳技術(初級)の習得  
講 師 点訳指導員 高橋世貴子氏  
参加者 3名(講習会終了者3名、点訳ボランティア「たんぼぼ」への登録者2名)

## (2) ボランティア講座

開催日時	令和4年3月15日(火) 午前10時～午前11時
開催場所	総合福祉センター2階大集会室(オンラインと同時開催)
内 容	「大災害に備える～コロナ禍での災害避難、支援は？」
講 師	一般社団法人ピースポート災害支援センター 垣貫 紀彦 氏
参加者	9名(会場7名、オンライン2名) ※ うち、2名が災害ボランティアとして登録

## 5 市民啓発

### 第14回「大東市ボランティアフェスティバル」

開催日時	令和4年3月13日(日) ※ 第17回大東市子育てフェスティバルと同日開催
開催場所	オンライン開催
開催内容	ボランティア団体紹介動画 大東ハーモニカアンサンブル、トパーズ、大東芸によるパフォーマンス
共 催	大東市ボランティア団体連絡会・大東市社会福祉協議会
参加者	38名(最大視聴者数)

## 6 関係会議等への参加

- 市町村社協ボランティアセンター担当者会議(府社協主催) 年2回
- 大東市ボランティア団体連絡会へのコーディネーター派遣 年2回
- 近畿ブロック社協災害支援研修 年1回

## 7 ボランティアセンター登録状況

- センター登録団体数 21団体、215名  
(内、ボランティア団体連絡会参加 19団体)

## 8 災害ボランティアセンターの協定

令和4年3月9日、ライオンズクラブ国際協会335-B地区11リジョン(大東ライオンズクラブ含む)と本会の間で「大規模災害発生時における相互協力に関する協定」を締結しました。

この協定により大規模災害が発生した際は、ライオンズクラブ国際協会335-B地区11リジョンから支援をいただけることになりました。災害協定の内容については、下記のとおりとなっています。

### 《主な協定内容》

- 災害ボランティアセンターの運営支援及び人的派遣
- 資機材、物資等の調達及び仕分け輸送、専門的な技能を活用した総合的な支援

## 15 校区（地区）福祉委員会活動と小地域ネットワーク活動

平成10年度に創設された大阪府の小地域ネットワーク活動推進事業は、校区（地区）福祉委員会を小地域ネットワーク活動の実践組織として位置付けました。大東市では15校区の福祉委員会が補助対象となっており、1校区あたり50万円の補助金（地域福祉・高齢者福祉交付金）と、歳末助け合い配分金から年額平均20万円の助成を行っています。

活動内容としては、「声かけ・見守り」による安否確認や地域住民同士がふれあい、声をかけあう場の提供として「ふれあいサロン」を開催しています。また、障害児者やその家族との交流、小学校や保育所と連携して「世代間交流事業」を実施しています。

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により委員会活動は大きく制限を受けました。しかし、コロナ禍でも「つながり」を絶やさないために、知恵と工夫を凝らして地域活動を展開しました。人数制限、二部制にしてのふれあいサロンの開催やICT講習の受講など、新たな形での地域活動を検討しました。

### 《校区(地区)福祉委員会活動実績》

委員会の名称	事業開始年度	個別援助ネット数	ふれあいサロン実施個所	子育てサロン	世代間交流の実施	機関紙の発行
三箇校区福祉委員会	H10	100	3	中止	中止	○
諸福校区福祉委員会	H11	50	3			○
氷野校区福祉委員会	H12	31	6	中止	中止	
泉校区福祉委員会	H13	44	4		中止	○
四条南地区福祉委員会	H14	38	4	中止		
四条北校区福祉委員会	H14	30	6		中止	
南郷校区福祉委員会	H14	33	3		中止	
深野校区福祉委員会	H14	41	7		中止	
灰塚校区福祉委員会	H14	24	5			
住道南地区福祉委員会	H14	33	7		中止	○
住道北地区福祉委員会	H15	25	4		中止	○
四条地区福祉委員会	H15	50	2			
深野北校区福祉委員会	H15	16	3		中止	
北条西地区福祉委員会	H15	8	4			
北条地区福祉委員会	H15	42	7		中止	

## 16 日常生活自立支援事業

認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない方が、自立して地域生活を営めるように、福祉サービスの利用手続きの援助や日常の金銭管理を行い、在宅生活を支援する事業です。

### 《サービス内容》

#### ① 福祉サービス利用援助

- ・福祉サービスの利用に関する相談、契約のお手伝い
- ・行政手続き

#### ② 日常的な金銭管理サービス

- ・福祉サービスや医療費の利用料金、税金や保険料、公共料金、家賃支払い手続き
- ・年金や福祉手当の受領に必要な手続き

#### ③ 書類等預かりサービス

### 《相談援助件数（問合せ・相談援助件数）》

内 容 対象者 事 項	本事業の利用に関するもの				合 計
	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	
問合せ件数 (制度、事業について)	10	2	2	4	18
初回相談件数 (初回相談受付)	17	4	11	1	33
累 計	27	6	13	5	51

### 《契約締結件数》

対象者 事 項		認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	生活保護 (再掲)	合 計
契 約 者 数		5	3	3	(4)	11
契約時自宅外 (再掲)	施 設	0	0	0	—	0
	病 院	0	0	0	—	0
	グループ ホーム	0	0	1	—	1

《終了件数》

対象者 事項		認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	合計
		累計	11	2	1

《生活支援員活動件数（契約者訪問件数）》

対象者 事項		認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	合計
		累計	総活動件数	701	538
内、生活保護受給者分	433		83	323	839

《実利用人数》

対象者 事項		認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	合計
		実利用人数	20	28	28

## 17 献血推進事業

少子高齢化の進行に伴い献血協力者が減少する中、大阪府や赤十字血液センターと連携し、年間を通じて献血者を安定的に確保することを目的に献血事業を実施しています。

大東市献血推進協議会の事務局として、コロナ禍のなか、地域住民の献血の理解と協力を求めるための普及啓発活動を行い、輸血用血液の安定的な供給を目指した活動を実施しました。

詳細については下記の【表1】～【表6】のとおりです。

### 《大東市献血推進協議会総会》

開催日：令和3年6月15日（火） 書面審議

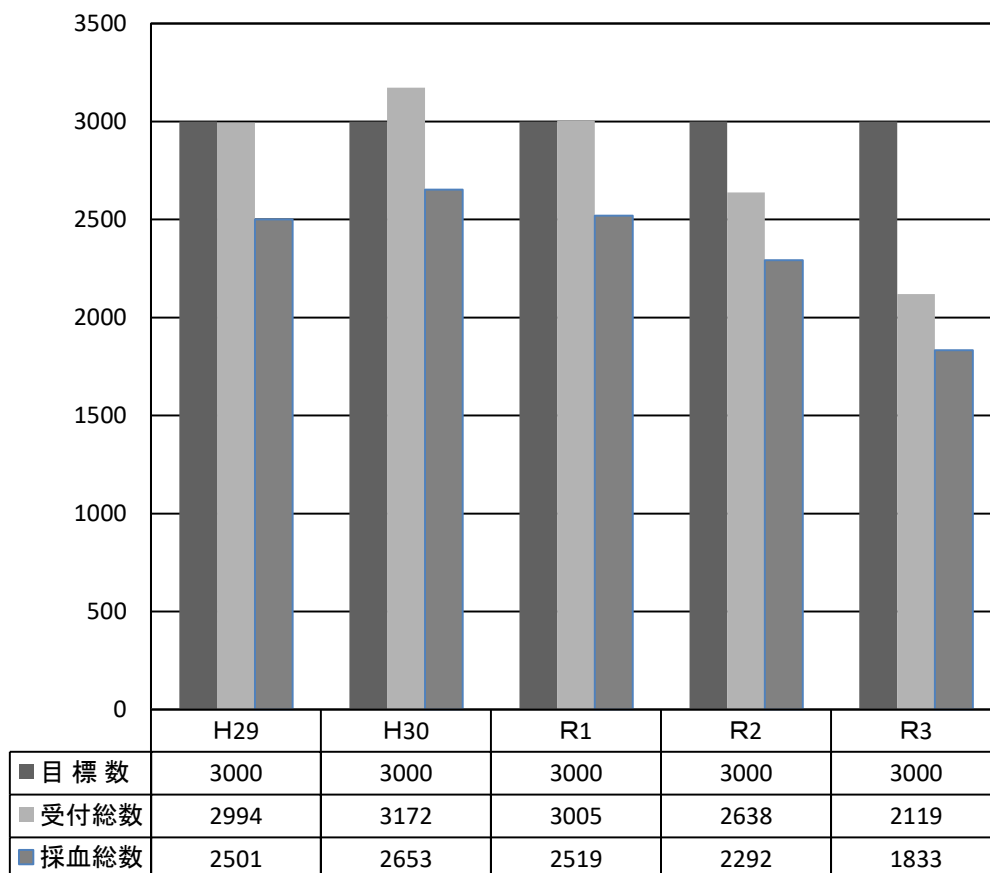
[議案]

- (1) 令和2年度大東市献血推進協議会事業報告並びに決算報告の承認
- (2) 令和3年度大東市献血推進協議会事業計画（案）並びに予算（案）の承認

【表1】 《目標・実績対比一覧》

区分	年間目標人数（人）	年間実績人数（人）	達成率
大東市	3,000	2,119	71%

### 過去5年の目標と実績の推移





【表2】 《大東市献血推進協議会委員構成》

区 分	役職・組織・団体名称	委員数
大東市・大阪府	市長・保健所	2
福祉関係者・団体	民生委員児童委員協議会・ボランティア団体連絡会	3
社会教育関係団体	大東市女性の会	2
社会運動団体	青年会議所、大東ライオンズクラブ・東大阪大東堺ライオンズクラブ	3
学識経験者	元市議会議員、元福祉委員	2
社協役職員	社会福祉協議会会長	1
	合 計	13

【表3】 《広報啓発活動一覧》

区 分	内 容	備 考
献血街頭キャンペーン	令和3年12月3日(金)、午前10時～午前11時 *令和3年7月2日(金)に予定していた 「愛の血液助け合い運動」は中止	大阪府献血推進月間 (呼びかけ)
行事時の実施と啓発	コロナ禍で行事が中止。実施せず。	
広報誌記事掲載	○ 市報12回	
広報車の地区巡回	随時献血場所周辺で実施	
その他	実施会場での呼びかけ、ポスター掲示、成人式での啓発用チラシの配布など	

【表4】 《地域献血年間集計表》

回数	月	日	曜	実施場所	主催	受付数	採血数	不適	400ml採血数	200ml採血数
1	4	8	木	ダイエー四條畷店	大東市献血推進協議会	27	25	2	25	0
2		18	日	住道駅前デッキ	大東フレンドフォーラム	63	59	4	59	0
3		29	祝	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	35	32	3	32	0
4	5	8	土	住道駅前デッキ	大東市献血推進協議会	49	40	9	40	0
5		8	土	アクロスプラザ大東	大東市献血推進協議会	41	34	7	32	2
6		27	木	コノミヤ住道	大東市献血推進協議会	21	17	4	17	0
7	6	11	金	ダイエー四條畷店	大東市献血推進協議会	29	25	4	25	0
8		12	土	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	53	44	9	43	1
9		20	日	住道駅前デッキ	大東フレンドフォーラム	56	45	11	43	2
10		28	月	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	31	27	4	27	0
11	7	2	金	住道駅前デッキ	大東市献血推進協議会	8	7	1	7	0
12		10	土	住道駅前デッキ	東大阪大東囃ライオンズクラブ	57	48	9	48	0
13		22	木	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	50	45	5	45	0
14	8	1	日	住道駅前デッキ	福祉と教育の街を推進する会	59	40	19	40	0
15		5	木	大東市役所	大東市献血推進協議会	34	32	2	32	0
16		16	月	ダイエー四條畷店	大東市献血推進協議会	25	20	5	20	0
17		19	木	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	16	13	3	13	0
18		29	日	住道駅前デッキ	大東フレンドフォーラム	49	46	3	43	3
19	9	4	土	住道駅前デッキ	大阪大東モラロジー	44	35	9	34	1
20		10	金	コーナン大東新田	大東市献血推進協議会	16	14	2	13	1
21	10	17	日	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	29	19	10	18	1
22		20	水	ポップタウン住道スペイン広場	大東ライオンズクラブ	34	29	5	29	0
23		29	金	ダイエー四條畷店	大東市献血推進協議会	28	23	5	22	1
24	12	3	金	住道駅前デッキ (キャンペーン)	大東市献血推進協議会	26	23	3	22	1
25		12	日	ポップタウン住道スペイン広場	大東フレンドフォーラム	68	63	5	63	0
26		21	火	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	25	21	4	20	1
27	1	8	土	住道駅前デッキ	大東市献血推進協議会	46	43	3	43	0
28		23	日	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	52	47	5	47	0
29		27	木	ポップタウン住道スペイン広場	大東市献血推進協議会	13	12	1	12	0
30	2	6	日	住道駅前デッキ	大東市献血推進協議会	53	51	2	49	2
31		9	水	大東市役所	大東市献血推進協議会	42	38	4	38	0
32		26	土	ポップタウン住道スペイン広場	東大阪大東囃ライオンズクラブ	55	53	2	53	0
33	3	9	水	ポップタウン住道スペイン広場	大東ライオンズクラブ	52	45	7	44	1
小 計						1,286	1,115	171	1,098	17

【表5】 《職域献血年間集計表》

回数	月	日	曜	実施場所	受付数	採血数	不適	400ml 採血数	200ml 採血数
1	4	20	火	東新鉄建株式会社	19	19	0	19	0
2		23	金	ダイソーケミックス株式会社	24	21	3	21	0
3	6	9	水	西濃運輸株式会社大東支店	14	13	1	13	0
4				船井電機株式会社	23	22	1	13	9
5	7	12	月	大東四條畷消防本部	31	31	0	31	0
6		23	金	大阪中央ダイカスト	65	59	6	59	0
7		29	木	大阪府四條畷警察署	14	14	0	14	0
8	10	8	金	大東中央病院	17	15	2	15	0
9		20	水	パナソニックモーター社	48	41	7	41	0
10		29	金	扶桑薬品工業株式会社大東工場	7	5	2	5	0
11	11	18	木	株式会社椿本カスタムチェン	27	27	0	27	0
12		22	月	東新鉄建株式会社	20	18	2	18	0
13	12	7	火	阪奈病院(阪奈苑)	20	20	0	20	0
14				大東四條畷消防本部	18	18	0	18	0
15		10	金	ニッポー株式会社	19	18	1	18	0
16				川村義肢株式会社	9	8	1	8	0
17				13	月	船井電機株式会社	14	13	1
18	1	27	木	医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院	27	23	4	23	0
19				大東市上下水道局	18	16	2	16	0
20	3	24	木	明星金属工業株式会社	18	13	5	13	0
小 計					452	414	38	405	9

【表6】 《学域献血年間集計表》

回数	月	日	曜	実施場所等	主催	受付数	採血数	不適	400ml 採血数	200ml 採血数
1	4	7	水	大阪府立消防学校	—	187	151	36	151	0
2	10	8	金	大阪府立消防学校	—	93	72	21	72	0
3	10	17	日	太成学院高等学校	—	34	23	11	9	14
4	11	25	木	大阪産業大学	学生献血推進協議会	40	35	5	33	2
5	1	13	木	大阪産業大学	学生献血推進協議会	27	23	4	22	1
小 計						381	304	77	287	17

【合計】

区分	受付数	採血数	不適	400ml	200ml
地域献血	1,286	1,115	171	1,098	17
職域献血	452	414	38	405	9
学域献血	381	304	77	287	17
合 計	2,119	1,833	286	1,790	43

## 18 貸付制度

### 1 大阪府生活福祉資金

この貸付金は、低所得者や高齢者、障害者の世帯に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立や生活意欲の向上、社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的としています。

令和3年度は、福祉資金については日常生活上必要な経費として、生活困窮の世帯へ貸付を行いました。また、教育支援資金として、高校、大学等への就学に必要な資金の貸付を行いました。

#### 《取扱件数及び金額》

資金の種類	申請件数	申込金額(千円)	貸付件数	貸付決定金額(千円)
福祉資金	4	131	4	131
教育支援資金	6	3,950	6	3,745
計	10	4,081	10	3,876

### 2 新型コロナウイルス感染症特例(緊急小口資金・総合支援資金)

この貸付金は、今般の新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が減少・失業した方のおられる世帯に対し、生活困窮を防止することを目的に貸付を行いました。

#### 《決定件数及び金額》※令和4年度4月20時点の速報値

資金の種類	貸付件数	貸付決定金額(千円)
緊急小口資金	721	142,200
総合支援資金(延長含)	707	409,950
総合支援資金(再貸付)	952	518,160
計	2,380	1,070,310

### 3 大阪府生活福祉資金(総合支援資金)

この貸付金は、失業や減収により生計の維持が困難になり、生活再建のため継続的な相談支援を必要とし、貸付を行うことにより自立が見込まれる世帯に対して資金を貸し付けることにより、世帯の自立を支援します。

#### 《取扱件数及び金額》

申込件数	貸付件数	貸付決定金額(千円)
1	1	450

### 4 生活福祉資金(緊急小口資金)

この貸付金は、初回給料、年金、公的給付までのつなぎや傷病、解雇、休業などの理由により一時的に著しい生活困窮に陥ったときに、その世帯に対し生活の改善・自立のために必要な資金を貸し付けています。

#### 《取扱件数及び金額》

申込件数	貸付件数	貸付決定金額(千円)
12	11	819

### 5 臨時特例つなぎ資金

この貸付金は、大阪府内に居住予定の離職者を支援するため、公的給付制度・貸付制度を申請している住居のない離職者に対して、その資金の交付を受けるまでの当面の生活費を貸し付けることにより、自立した生活を支援することを目的としています。

なお、令和3年度の申請はありません。

## 19 善意銀行の状況

預託された方の意思を十分考慮したうえで、援助が必要な方のために役立てます。

#### 《預託内容》

- ・現金21,000円、マスク1,000枚、ラーメン15ケース、車椅子3台  
アルコールジェル(500ml)440本、救急絆創膏1,600包装

## 20 共同募金運動の状況

[大阪府共同募金会大東地区]

「赤い羽根」のシンボルマークで、毎年10月の風物詩として全国で繰り広げられ市民に定着している「共同募金」は、民間社会福祉施設や地域福祉を推進する社協等の組織団体に配分され、貴重な財源となっています。又、10月1日から12月31日の法律に定められた期間の内、12月は「歳末たすけあい運動」として展開されています。

本市では今年度も、区自治会を通じての地区募金と、関係団体等による募金箱の設置等により、大きな成果を上げることができました。

### 《募金実績一覧》

区分・説明	金額(円)	備考
地区募金	4,856,261	インターネットによる募金含む
街頭募金	-	今年度はコロナ禍のため中止
個人・団体募金	36,146	共同募金協力型自動販売機の募金含む
バッジ募金	290,000	500円×580個
合計	5,182,407	

## 21 歳末たすけあい運動の状況

[大阪府共同募金会大東地区]

毎年、年の瀬の風物詩「歳末たすけあい運動」は、共同募金運動の一環として実施されています。「みんなでささえあうあったかい地域づくり」を合言葉に、本年度も大きな成果を上げることができました。

### 《募金実績一覧》

区 分	金 額 (円)	備 考
地区募金	4,807,243	
個人・団体募金	373,662	
合 計	5,180,905	

### 《募金配分実績一覧》

種 別	配分区分	件 数	金 額 (円)
要援護世帯	見舞金	47	480,000
寝たきり高齢者	見舞金	5	25,000
校区福祉委員会運営費	事業助成	15	3,000,000
まちかどサロン事業	事業助成	4	1,300,000
合 計		71	4,805,000

## 22 ひとり暮らし高齢者給食サービス事業

本事業は、在宅福祉サービスの一環として民生委員児童委員の協力を得て、市内に住む70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に実施しています。弁当は業者に委託し、配食は民生委員児童委員にご協力を頂いています。

なお、夏期の7月、8月、9月は食中毒を予防するため休止しています。

### 《実施状況一覧》

月	日	曜	実施地区	配食数	月	日	曜	実施地区	配食数
4	14	水曜日	B	89	10	13	B	94	
	21		A	137		20	A	136	
5	12		B	90	11	10	B	94	
	19		A	139		17	A	133	
6	9		B	85	12	8	B	91	
	16		A	137		15	A	134	
7	休 止				1	12	B	91	
8							19	A	134
9						9	B	90	
						2	16	A	136
							9	B	93
						3	16	A	133
合 計			A・B 各9回	2,036					

※ 実施地区については民児協地区委員会単位の組合せ

A地区＝ {北条・四条・四条北・深野・三箇}

B地区＝ {住道北・泉・住道南・氷野・灰塚・南郷・諸福}

### 《月別配食数一覧》

月	4	5	6	10	11	12	1	2	3	計
配食数	226	229	222	230	227	225	225	226	226	2,036



## 23 ボランティア基金の状況

「ボランティア基金」は、ボランティア活動の振興を図ることを目的に昭和61年度に創設しました。平成12年には当初目標の1億円を達成し、平成25年度に長期国債・地方債を購入し、安全で有利な資金運用を行っています。また、この利息をボランティアセンターの運営費や下記の登録団体への助成に充てています。

《ボランティア団体に対する活動助成》

5万円助成（② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑯ ⑰ ⑱の団体）

3万円助成（① ⑮の団体）

総額＝91万円

①	ボランティアさんごじゅの会	⑪	日本語ボランティアパステル
②	ボランティア縫心会	⑫	パソコンボランティアパソ救
③	手話サークル虹	⑬	要約筆記ボランティアダンボ
④	点訳ボランティアたんぼぼ	⑭	シルバーアドバイザー大東の会
⑤	朗読ボランティアともしび	⑮	ギターサークル「トパーズ」
⑥	ボランティアエンゼルQ	⑯	パソコン・ドクター
⑦	リハビリ介護ボランティアなかま	⑰	ジャグリングサークル「大東芸」
⑧	在宅介護ボランティアほっと	⑱	大東傾聴の会「えがお」
⑨	難病介護ボランティアふれあい	⑲	大東ハーモニカアンサンブル
⑩	送迎介護ボランティアよりそい		

## 24 社会福祉基金の状況

本会の社会福祉活動の推進と安定した運営を図るため、「社会福祉基金」を運用しています。

《寄付金実績一覧》

区 分	金 額 (円)	件 数
個人寄付金	4,000	2
組織・団体寄付金	265,709	4
寄付金合計額	269,709	6

## 25 コミュニティソーシャルワーカー配置事業

大東市では地域福祉の推進を図るため、市内8か所に「安心・いきいきネット相談支援センター」を設置しており、住民の困りごとに関する総合相談を行う専門員としてコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置しています。地域住民や団体の協力を得ながら、援護を必要とする方の支援を行うだけでなく、住みよいまちづくりに必要なシステムを構築する役割も担っています。

本会は、平成16年10月に大東市から住道中学校区の委託を受け、平成25年度には大東中学校区の委託も受けました。平成29年度からは、細やかな相談体制をとるために小学校区割となり、担当エリアは泉小学校区・住道南小学校区・灰塚小学校区となりました。

相談対象者	延べ件数
高齢者	44
障がい者	30
子育て中の親子	16
一人親家庭の親子	4
青少年	0
DV 被害者	0
ホームレス	0
外国人（中国帰国者を含む）	0
地区組織	273
行政機関	35
教育機関	0
就労機関	3
医療機関	3
保健所	7
高齢者関係機関	73
障害者関係機関	33
児童関係機関	5
福祉関係機関	25
一般企業	24
住民グループ	0
上記以外の住民	91
CSW	27
合 計	693

相談内容	延べ件数
福祉制度・サービス	57
生活に関する身近な相談	34
健康・医療	40
生活費	14
就労	11
財産管理・権利擁護	5
消費者被害	0
多重債務	3
DV・虐待	12
地域福祉・ボランティア活動	250
住宅	17
子育て・子どもの教育	11
見守り・傾聴	51
支援・調整	89
手続き支援	9
入所・入、退院	4
家族・対人関係	81
介護	1
依存	0
人権	0
安全	2
法律問題	2
合 計	693

## 26 生活困窮者自立相談支援事業

市の受託事業として、生活に困窮している方を対象に、生活保護受給に至る前の段階で自立した生活を送れるよう、市役所福祉政策課に窓口を設置し相談員を配置しています。

令和3年度は住居確保給付金の支給対象の拡大に対応するため、市からの要請に基づき、相談員4名を配置し、自立相談、資金貸付、住居確保給付金、就労、家計相談などの支援を行いました。

### 《新規相談受付件数》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	42	42	40	32	46	50	54	38	22	25	31	55	477

### 《相談経路》 ※複数カウント

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本人(来所)	38	40	36	31	40	39	27	32	18	18	26	32	377
本人(電話・メール等)	1	0	0	0	2	7	1	1	2	3	3	18	38
家族・知人(来所)	5	3	2	1	3	0	2	6	1	3	1	1	28
家族・知人(電話等)	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	3	7
自立相談支援機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	4
関係機関・関係者	1	1	1	0	4	1	4	34	0	21	21	28	116
その他	0	0	0	0	2	1	0	2	0	3	3	3	14
不明	0	0	0	0	3	0	20	0	1	0	0	0	24
合計	45	44	39	32	54	50	54	75	22	51	55	87	608

《新規の相談内容》 ※複数カウント

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
病気・怪我	4	3	5	3	11	8	2	4	0	4	4	5	53
障害	4	4	3	2	1	1	4	2	1	1	0	3	26
自死企図	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
メンタルヘルスの課題	1	1	3	0	2	1	2	2	2	0	1	5	20
住まいの不安定	2	4	3	3	14	10	6	3	7	9	10	9	80
ホームレス	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
経済的困窮	29	24	26	20	28	32	17	26	12	16	22	42	294
多重・過重債務	2	4	3	0	2	1	2	0	0	0	0	2	16
家計管理の課題	1	0	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	6
就職活動困難	15	12	8	12	11	6	8	10	4	6	9	10	111
就職定着困難	0	5	2	0	1	2	1	0	1	1	0	0	13
生活習慣の乱れ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
社会的孤立 (ひきこもり含む)	2	0	1	2	0	0	0	0	0	2	0	4	11
家族関係・家族の問題	1	1	3	0	0	0	0	0	0	1	2	1	9
介護の問題	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	5
子育ての問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中卒・高校中退	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ひとり親	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	5
DV・虐待	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	4
外国籍・刑余者	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3
コミュニケーションが苦手	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
本人の能力の課題	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他・不明	0	2	2	1	1	2	10	3	1	1	2	1	26
計	67	63	63	44	72	65	54	54	30	42	52	85	691

《住居確保給付金》

決定件数 126件、対応件数 627件

## 27 生活困窮者緊急物資等支援事業

本会の独自事業として、失業、給料の遅配、疾病などの理由により、日々の食事を満足に摂れない生活困窮者に対し、善意銀行を活用し、一定の期間に限り食材の提供や備品の貸与を行い、自立に向けて関係機関等とともに支援を図っています。

- 提供食材・・・米、レトルト食品、インスタントラーメン、缶詰など
- 貸与備品・・・カセットコンロ、ボンベ、ランタン、カイロなど

食料提供件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	0	2	0	0	5	1	1	4	1	2	7	1	24

## 【指定管理者事業】

### 28 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ事業）

本事業は昼間、就労や疾病のため保護者のいない小学校6年生までの児童を対象に、遊びや生活の場を提供し健全育成を図ることを目的としています。

開設当初から児童の安全・安心を重視し利用者サービスに繋がる取り組みを積極的に行いました。また、主任制を導入することで、保護者への対応や学校との連携を密にし、クラブ間の連絡等、円滑かつ効果的な運営を図ってきました。

現在、12箇所の小学校27クラブを運営しています。令和3年度当初における登録児童総数は1,199人と毎年1,000人以上の登録となっております。

令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策として、手洗い・消毒・換気・密を避け、消毒清掃を徹底的に行ってきました。児童クラブは児童の安全を見守り、就労している保護者等を支援する施設として運営しています。また、市、小学校と連携を図り、臨機応変に対応した児童クラブの管理運営を行いました。令和3年度も、コロナ禍の影響により、事業計画の大半について中止せざるを得ませんでした。

#### 《登録児童数・障がい児数・延長・土曜日利用平均人数》

	四条北	泉	氷野	灰塚	南郷	住道北	住道南	四条	深野	北条	三箇	諸福	計
月人数	91	100	90	117	93	74	112	134	65	65	93	133	1,167
延長	14	11	7	10	12	13	11	6	5	8	13	11	121
土曜	18	19	11	25	19	12	12	20	9	7	22	22	196
障害児	10	5	6	8	8	3	11	7	4	6	11	12	91

#### 《通年事業》

- ◎ 誕生日会(毎月1回)・七夕・夏祭り・クリスマス・年賀状・正月遊び・節分・お別れ会
- ◎ 防災訓練(令和3年8月11日全クラブで防災頭巾を使用し地震訓練の実施、非常食の試食)
- ◎ ファミリーディ製作(母の日・父の日)、シルバーディ、ボラーナ似顔絵描き  
三好長慶ポスター描き、パラリンピック応援メッセージ製作

#### ※コロナの影響で中止した事業

- 第7回放課後児童クラブ発表会とエコ絵画展示の同時開催
- 学習教室…教員OBによる指導(教員OB作成教材による自主学習は実施)
- 防災教育講座、子ども安全教室、小坊主体験、福祉施設等との交流、映画鑑賞会
- 福祉委員会サロン参加者と交流、マクドナルドアピランスショー

#### 《大東市立生涯学習ルーム「まなび泉」の管理運営》

市民の日常生活の身近な施設である小学校を「地域」における市民の生涯学習活動の拠点として、地域住民への学習機会の提供と充実を目的に、泉小学校の空き教室を活用して講習や講座を行っています。令和2年度から引き続きコロナ禍の影響により年間を通して閉館したため、事業は実施していません。

なお、令和3年度をもちまして、「まなび泉」の事業廃止により管理運営業務は終了となりました。

【指定管理者事業】

## 29 総合福祉センター事業

令和3年度4月から9月と1月から3月は、緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置が適用されセンター内での更なる感染拡大を防止するため、事業を中止せざるを得ませんでした。10月から12月は利用者の皆様に、3密（密閉・密集・密接）を避けるため、ご協力をお願いして高齢者、障害者福祉の増進と利用者サービスの向上を目的として様々な事業を実施しました。自主事業では、足湯事業、緑化事業、健康チェック&相談会事業等を実施しました。継続事業では、障害のある方の芸術文化活動を振興するため、創作的活動教室を実施し利用者の交流の機会作りに努めました。施設管理面では、利用者の皆様に、より快適な空間を提供できるよう設備の整備を進めました。

また、喫茶『福°ぷく』は、障害者施設に運営していただき障害者の就労体験の場としても活用され利用者の交流の場として喜ばれています。

《利用対象者》 大東市内在住の60歳以上の高齢者、または身体障害者手帳をお持ちの方

《利用時間》

窓口業務	午前9時～午後8時45分
各部屋の貸出し	午前9時～午後8時45分
入浴サービス	火・水・木・土曜日（午前11時～午後2時45分）
囲碁,将棋,ビリヤード,娯楽室利用	午前9時～午後5時
休館日	日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）

《利用者人数》 延べ34,859人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
身体障害者福祉C	158	0	113	232	0	0	301	428	450	266	95	182	2,225
老人福祉C	1,697	0	873	2,783	0	0	3,599	3,449	3,265	2,720	2,020	3,023	23,429
社会福祉C	275	0	113	766	0	0	883	723	574	593	504	650	5,081
その他	546	654	495	87	666	529	328	306	281	124	50	58	4,124
合計	2,676	654	1,594	3,868	666	529	5,111	4,906	4,570	3,703	2,669	3,913	34,859

《自主事業》

足湯事業 『利用者の健康を 考える日』	利用者に対し冷え症の改善や疲労回復等に効果がある足湯を提供している。また同時開催として毎回各種教養講座も実施した。（毎月第3金曜日に実施）
緑化事業 『花と緑あふれる センターづくり』	総合福祉センター緑化協力員の協力を得て、四季折々の花を育てエコ対策およびセンターの景観づくりと利用者へのサービス向上を図ることを目的として花と緑あふれるセンターづくりを推進した。
健康チェック&相談会	利用者の体調管理をサポートするため、看護師や管理栄養士等により、体組成計などの機器を用いた健康測定や健康相談を実施した。

総合福祉センター事業実績一覧

月	日	月別活動	内 容	参加人数
4				
5				
6				
7				
8				
9				
4月12日から新型コロナウイルス感染症対策における感染防止対策のため急遽閉館後、引き続き、国の緊急事態宣言の発令を受けて、4月23日から6月20日まで閉館した。その後、まん延防止等重点措置への移行を受けて、6月21日から8月1日まで午後8時閉館後、再度、国の緊急事態宣言の発令を受けて、8月2日から9月30日まで閉館した。				
10	15	教養講座	健康講座「知って得する薬の話」 講師：さくら薬局薬剤師	13
	26	健康チェック&相談会	さくら薬局薬剤師による体組成計などの機器を用いた測定及び相談	23
11	1	緑化事業	花と緑あふれるセンターづくり：花壇の植替えなど	6
	16日～12月7日	シニア向けパソコン講座 (パソコン活用術)	高齢者、障害者のパソコン初心者向けの講座 (週2回開催の全6回コース)	43
	19	教養講座	笑いと生きがいを生み出す認知症予防講座 講師：石田竜生 氏	15
	29	消防訓練	火災時の通報、避難、消火訓練により人命の安全確保と災害を予防	21
	30	健康チェック&相談会	(株)アカカベ管理栄養士による体組成計などの機器を用いた測定及び相談	14
12	2	夜間消防訓練	夜間火災時の通報、避難、消火訓練により人命の安全確保と災害を予防	10
	17	教養講座	オンライン健康講座 良い睡眠のための健康管理 講師：千成ヤクルト管理栄養士	11
	21	健康チェック&相談会	さくら薬局薬剤師による体組成計などの機器を用いた測定及び相談	17
1				
2				
3				
毎月事業				
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 足湯事業：高齢者を対象に健康増進事業として足湯と健康チェック（38名参加）</li> <li>○ 楽しい絵手紙教室：絵手紙講座を通じて参加者相互の交流を図る（54名参加）</li> <li>○ 元気でまっせ体操：転倒による骨折や認知症によって介護が必要となることを防止する（1,068名参加）</li> <li>○ ディスコン：高齢者の室内スポーツで機能回復訓練の一環として実施（79名参加）</li> <li>○ 言語訓練：言語障害のある人を対象に機能の維持向上のための訓練を実施（15名参加）</li> <li>○ 創作的活動教室（生花・木彫り・水彩画・さをり織り）：障害者の芸術文化活動を振興する（116名参加）</li> </ul>				

大東市社会福祉協議会

マスコットキャラクター 『ボラーナ』



多様性を認め 住民同士が支え合い

生きがいを共に創り 高め合うことができる

「地域共生社会」の実現を目指して